

会員各位

令和5年6月7日
一般社団法人 茨城県中小企業診断士協会
会長 宮田 貞夫

令和5年度 通常総会のご案内について

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

常日頃は当協会の運営に関し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、茨城県中小企業診断士協会では、通常総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。また、総会の終了後には、会場内で情報交換会も開催いたしますので、ぜひご出席ください。

なお、総会および情報交換会ご出席の有無、及び委任状については返信用封筒またはメールにて、令和5年6月19日までに当協会事務局までお送りくださるようお願いいたします。

記

1. 日 時 令和5年6月25日(日) 午前10時～
2. 場 所 ホテルグランマリアージュ 石岡市国府1丁目1-1
TEL 0299-22-4100
3. 通常総会議事
審議事項
第1号議案 令和4年度事業報告及び収支計算書の承認を求める件
第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)審議の件

報告事項
報告第1号 重複会員における入会金の取り扱いについて
報告第2号 運営委員制度の創設について
4. 情報交換会

(一社) 茨城県中小企業診断士協会 行

※この用紙は、6月19日(月)までに同封の返信用封筒にてのご提出またはメールでの返信をお願いいたします。

なお、メールでのご返信の際は、「PDF データ」か「写真データ」(スマートフォン等での撮影可、判読不可の際は再送依頼)にしてメール(ibarakishindanshi@gmail.com 協会事務局宛)に添付をお願いいたします。

- | | | | |
|---------------|----|----|-----|
| 1. 令和5年度通常総会に | 出席 | 欠席 | します |
| 2. 情報交換会に | 出席 | 欠席 | します |

委任状

私は 議長または 会員を代理人と定め次の権限を委任します。
令和5年6月25日(日)開催の令和5年度 一般社団法人 茨城県中小企業診断士協会 通常総会に出席し、次の議案につき私の指示【○印で表示】に従い議決権を行使すること。
なお、賛否の表示のないものは賛成とすることに意義ありません。

第1号議案 賛 否

第2号議案 賛 否

※上記のほか、議事に関し附帯意見等があれば余白に記入してください。

令和5年 月 日

住 所

氏 名

令和5年度
一般社団法人 茨城県中小企業診断士協会
通常総会 議案書

次 第

議事

審議事項

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び収支計算書の承認を求める件
- 第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)審議の件

報告事項

- 報告第1号 重複会員における入会金の取り扱いについて
- 報告第2号 運営委員制度の創設について

議案書は総会当日各自ご持参下さい

第1号議案

令和4年度事業報告及び収支計算書の承認を求める件

1. 令和4年度事業報告

(1) 各事業の実施状況

- ① 協会の会議体として「理事会」のほかに協会運営について検討する「業務執行委員会」を設置して、協会内の円滑な意思疎通を行った。
- ② 協会運営を支援してくれる会員組織として「運営委員」を設置して、理事と協力して協会運営を行った。
- ③ 協会各事業の運営を強力に進めるために、「委員会」のほかに「プロジェクトチーム」を立ち上げて、迅速かつ着実に事業運営を行った。

チームの名称	内 容
10周年記念 PT	10周年記念レセプションの企画運営
会員増強 PT	インターンシップ型実務研修準備
企業内診断士向けサービス開発 PT	企業内診断士向け新規サービスの検討 他県協会と連携したイベント開催企画（実施は新年度）

- ④ 経営支援技術の向上を旨として、新規研究会を2つ追加して、研究会活動を積極的に行った。
- ⑤ 会員の資質の向上と共有化を図るために以下の会員向け研修を実施した。
 - 理論政策更新研修会
 - ミニ実務従事事業（研修会）
- ⑥ 水戸市・県立図書館等と連携し創業スクールを実施した。
- ⑦ 県内中小企業支援機関と連携した企業支援の実施
 - 県保証協会と連携した企業支援（訪問型）
 - 県農業参入等支援センターと連携した農業支援（訪問型）
 - つくば市・つくば市商工会と連携した相談会（来訪型）
 - 水戸市等と連携した県立図書館での相談会（来訪型）
- ⑧ ポリテクセンター茨城の生産性向上支援訓練への講師派遣
- ⑨ 本部及び各県協会との交流を密にして、積極的に情報収集を図った。
 - 本部ブロック会議～北関東・信越ブロックへの参加
 - 本部ブロック情報交換会～北関東・信越ブロックへの参加

2. 主な事業

(1)本部・ブロック関係会議

会議名	開催日	担当県協会	参加者
北関東・信越ブロック 連絡協議会	R4/10/28	栃木県	宮田
北関東・信越ブロック 情報支援会	R5/4/7	長野県	宮田、中原、曾澤

(2)会議 等

会議名	開催日	場所
10周年記念レセプション	R5/3/18	ホテルグランマリアージュ
通常総会	R4/6/26	ホテルグランマリアージュ
理事会	R4/6/26 R4/7/23 R5/1/22	ズーム会議／対面会議
業務執行委員会	月1回（理事会開催月を除く）	ズーム会議／対面会議

(3)研修会

研修名	年月日	場所	参加者
理論政策更新研修会	R4/7/23	石岡市（マリアージュ吉野）	104名

(4)無料経営相談会 等

事業名	年月日	場所	備考
無料経営相談会	R4/4 ～	つくば市役所	全242回（延べ480人）
無料経営相談会	R4/4 ～	県立図書館	全12回（延べ27名）

(5)会員診断士派遣 等

事業名	年月日	場所	備考
県農業支援	R4/4 ～	現地支援	農業経営支援
県保証協会	R4/4 ～	現地支援	中小企業経営支援

(6)経営セミナー 等

	年月日	場所	備考
創業セミナー	R4/10～11	県立図書館（他）	対象：創業者 全5回（申込29名）
生産性向上支援訓練	R4/4～R5/3	民間企業等訪問 現地実施	対象：高齢、障害、求職者、 雇用支援機構

(7)実務従事事業

研修名	年月日	支援先	実施状況	参加者
ミニ実務研修会①	R4/1/14	製造業	生産・品質管理、その他工場の課題	2名
ミニ実務研修会②	R4/1/28 R4/2/25	小売業	今後の経営の方向性に関する検討	6名

令和4年度 収支計算書
令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

(一社) 茨城県中小企業診断士協会
(11)

科目	予算額	決算額	増減(決算-予算)	備考
収入				
会費収入 正会員	3,510,000	3,601,250	91,250	
〃 他会員	0	0	0	
入会金	150,000	240,000	90,000	@30,000×8名
①会費 小計	3,660,000	3,841,250	181,250	
民間診断	2,500,000	1,749,000	-751,000	保証協会、農業診断等
セミナー①(教育訓練)	750,000	637,000	-113,000	ポリテク等
			0	
研修会(理論研修)	450,000	611,718	161,718	
その他(相談会他)	200,000	0	-200,000	
②事業 小計	3,900,000	2,997,718	-902,282	
③その他 収入	0	27,287	27,287	
収入合計(イ)(①+②+③)	7,560,000	6,866,255	-693,745	
支川			0	
①本部会費他	780,000	806,380	26,380	
②委員会	1,000,000	528,000	-472,000	HP作成・運営含む
		0	0	
		0	0	
		0	0	
③(公認研究会)地区研究会他	500,000	899,270	399,270	10周年記念レセプション
小計	2,280,000	2,233,650	-46,350	
事業費			0	
④民間診断	500,000	0	-500,000	
⑤セミナー①(教育訓練)	200,000	0	-200,000	
⑥セミナー②(自主セミナー等)			0	
⑦研修会(理論研修・ミニ研修)	450,000	775,829	325,829	
その他(相談会他)	500,000	251,728	-248,272	
小計	1,650,000	1,027,557	-622,443	
管理費			0	
⑧会議費(総会・理事会)	250,000	139,280	-110,720	
⑨事務局費	1,500,000	523,468	-976,532	事務局手数料
⑩事務所費	800,000	373,923	-426,077	電話、電気、水道、携帯、リース等
⑪雑費	400,000	376,539	-23,461	コピー、ネット、郵送・印刷代等
その他	600,000	276,106	-323,894	PC、モニタ、プロジェクタ
小計	3,550,000	1,689,316	-1,860,684	
予備費	80,000	0	-80,000	
支出合計(ロ)	7,560,000	4,950,523	-2,609,477	
当期収支(イ)-(ロ)	0	1,915,732	1,915,732	
前期繰越収支差額	9,368,517	9,368,517	0	
次期繰越収支差額	9,368,517	11,284,249	1,915,732	

令和4年度 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(一社) 茨城県中小企業診断士協会

(単位：円)

科目	当年度	備考
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	383,323	
普通預金	7,916,141	
定期預金	3,000,051	
未収金	516,586	
流動資産合計	11,816,101	
2 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産合計	0	
(2) 特定資産		
特定資産合計	0	
(3) その他の固定資産		
什器備品	0	
その他の固定資産合計	0	
固定資産合計	0	
資産合計	11,816,101	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	30,000	
未払費用	0	
預かり金	501,852	
流動負債合計	531,852	
2 固定負債		
固定負債合計	0	
負債合計	531,852	
III 正味財産の部		
1 指定正味財産	0	
2 一般正味財産	11,284,249	
正味財産合計	11,284,249	
負債及び正味財産合計	11,816,101	

令和4年度 財産目録

令和5年3月31日現在

(一社) 茨城県中小企業診断士協会

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金		383,323		
普通預金		7,916,141		
一常陽銀行石岡支店		1,594,825		
一水戸信用金庫本店		3,955		
一常陽銀行石岡支店		6,317,361		
定期預金		3,000,051		
一常陽銀行石岡支店		3,000,051		
未収入金		516,586		
一その他		516,586		
流動資産合計			11,816,101	
2 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計		0		
(2) 特定財産				
特定財産合計		0		
(3) その他固定資産				
什器備品				
その他固定資産合計		0		
固定資産合計			0	
資産合計				11,816,101
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金		30,000		
未払費用		0		
預かり金		501,852		
流動負債合計			531,852	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				531,852
正味財産合計				11,284,249

監査報告書

一般社団法人 茨城県中小企業診断士協会
代表理事 宮田貞夫 殿

令和4年4月1日から令和5年3月31日の事業年度における理事の職務遂行について、一般社団法人の法律施行規則に基づき監査を実施いたしましたので、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、担当理事より職務の体制及び執行状況について報告を受け、理事会議事録を閲覧し、業務内容について調査いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告の監査結果

事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。また、理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実はありません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和 5年 5月 15日

一般社団法人 茨城県中小企業診断士協会

監事 桶 哲治
監事 石渡 光男



事業計画（案）

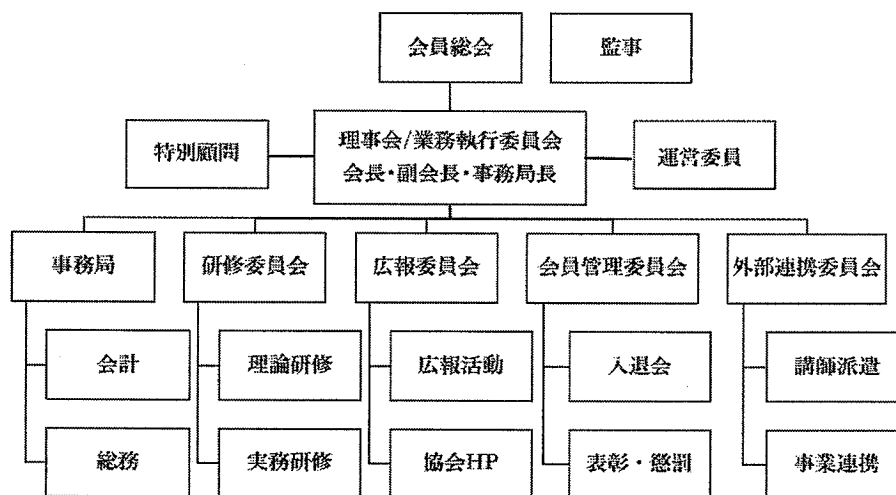
1. 組織運営理念

- (1) 国・県等の取組みを理解し、積極的に地域中小企業の経営力強化の支援を行う。
- (2) 多様なタイプの会員中小企業診断士の活動ニーズに応えるサービスを提供する。

2. 年度の基本方針

- (1) 多様なタイプの会員の診断士活動の支援
- (2) 行政・団体等の実施する企業診断・企業支援等の事業への会員紹介
- (3) 企業内診断士の企業支援実務の体験の場や交流の場の提供（2タイプの実務研修等）
- (4) 会員の積極的な自己研鑽の場の提供（各種研究会等）
- (5) 会員の資格更新に関するニーズへの細やかな対応（理論研修、更新手続き支援等）
- (6) 県・市町村との連携
- (7) 診断士受験に挑戦する人材の支援
- (8) 本部関連行事の実施（診断士の日やブロック会議等）
- (9) 運営委員制度による協会運営の強化

3. 新年度の組織図



4. 運営委員制度の充実

- (1) 昨年度開始し、主に協会行事運営支援をしてもらったが、運営委員の活動領域を広げ、今後主導的に協会運営を行う人材（10～15人）を養成する。
- (2) 強化方法：委員会活動やプロジェクトチーム活動への参加

5. 10周年記念実務研修会の開催

- (1) なるべく多くの会員が集まり企業支援の実務研修を実施する。
- (2) 1泊2日で実施して実務ポイント取得機会を提供するとともに会員の懇親を図る。

6. インターンシップ型実務補修の開始

- (1) 2次試験合格者ための診断士実務補習として、先輩診断士等が行うコンサルティング活動に同行し、指導を受ける「インターンシップ型」の実務補習を実施する。
- (2) 実務ポイント獲得を目的とした県内の中小企業診断士も対象とする。

7. 診断士試験受験者応援制度の創設

- (1) 診断士試験の準備を進める受験者を支援する制度を創設する。
- (2) 先輩診断士がチューターとなり、協会情報、診断士情報、受験対策等の支援を行う。
- (3) 協会行事等への参加も一部可能とする。

8. kintone システムの導入

- (1) ホームページ情報とは異なる会員限定情報の提供ツールを導入する。
- (2) タイムリーな会員情報、協会規定、事業受託情報等の会員限定情報を提供する。
- (3) 全国的にも多くの県協会が同一システムを使用するため、情報交換の円滑化が可能。

9. 石岡研修室の会員向け貸出開始

- (1) 昨年度整備した石岡研修室を会員の研修会等向けに無料で貸し出す。
- (2) 研修室環境：大型モニター、Wifi 環境、空調、6～10 人収容

10. 事業計画の具体的実施案

(1) 協会運営組織

機能・委員会名	活動内容	理事	運営委員
総務	協会総務事務	宮田	1名
会計	協会会計事務	阿内、曾澤、清瀬	1名
石岡事務所	事務所の管理	松本	—
研修委員会	理論・実務研修会の企画・運営	井深	3名
広報委員会	IT 運営 (HP・kintone 運営)	中原	2名
	協会広報活動	林	1名
会員管理委員会	入退会管理、表彰、懲罰等	清瀬	1名
外部連携委員会	外部との連携、講師等の派遣	宮田	1名

(2) 研修会

区分	内容	日程	備考
法定研修	理論研修会	R5.7.22	ホテルグランマリアージュ
実務従事事業	ミニ実務研修会	R5.8月以降	実施事業所等にて開催
実務補修	インターンシップ型実務補修	未定	会員診断士、2次試験合格者

(3) 会議等主な協会事業

区分	内容	日程	備考
企業診断	民間企業支援	R5.4 ~ R6.3	県保証協会 他
農業経営支援	農業者支援	R5.4 ~ R6.3	県農業参入等支援センター
生産性向上教育訓練	民間企業等実施訓練	R5.4 ~ R6.3	高齢者等雇用支援機構
無料相談会	つくば市	R5.4 ~ R6.3	つくば市相談窓口
	県立図書館	R5.4 ~ R6.3	県立図書館
情報発信	メール等での情報提供	R5.4 ~ R6.3	委員会情報等
診断士の日	診断士の日関連行事実施	R5.11.4	

(4) 会議

区分	内容	日程	備考
会員総会	協会運営に係る決議及び報告	R5.6.25	
理事会	協会運営に係る決議	R5.4 ~ R6.3	定例理事会 2 回及び臨時開催
業務執行会議	協会運営に関する協議	R5.4 ~ R6.3	理事会開催月以外の毎月 1 回
本部会議 ブロック会	北関東信越ブロック会議 北関東信越情報交流会	未定 未定	担当県：長野県 担当県：茨城県

(5) 各種研究会

経営革新・DX	事業承継・知的資産	伴走支援	農業経営	創業
---------	-----------	------	------	----

令和5年度 収支予算書 (案)

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

(一社) 茨城県中小企業診断士協会
(円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	備考
収入			
会費収入 正会員	3,510,000	3,870,000	@45,000×86名
" 他会員	0	0	
入会金	150,000	150,000	@30,000×5名
(会費) 小計	3,660,000	4,020,000	
民間診断	2,500,000	1,500,000	民間診断等
セミナー	750,000	500,000	ポリテク等
研修会 (理論研修・ミニ研修)	450,000	800,000	理論研修・10周年記念実務研修会等
その他 (相談会他)	200,000	0	図書館・インターシップ等
(事業) 小計	3,900,000	2,800,000	
その他 収入	0	0	
収入合計	7,560,000	6,820,000	
支出			
本部会費他	780,000	860,000	
委員会	1,000,000	100,000	
公認研究会 地区研究会他	500,000	500,000	
小計	2,280,000	1,460,000	
事業費			
民間診断	500,000	0	
セミナー	200,000	0	
研修会 (理論研修・ミニ研修)	450,000	1,200,000	10周年記念実務研修会
その他 (相談会・プロジェクト活動他)	500,000	1,200,000	インターシップ・受験者応援制度・新入会員支援等
小計	1,650,000	2,400,000	
管理費			
会議費 (総会・理事会)	250,000	250,000	
事務局費	1,500,000	700,000	事務依頼
事務所費	800,000	800,000	2拠点体制
雑費	400,000	600,000	
その他	600,000	500,000	kintone導入
小計	3,550,000	2,850,000	
予備費	80,000	110,000	
支出合計	7,560,000	6,820,000	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	9,368,517	11,284,249	
次期繰越収支差額	9,368,517	11,284,249	

報告第1号 重複会員における入会金の取り扱いについて

会費規程第2条では、正会員、準会員及び賛助会員の入会金を30,000円と定めており、他県協会との重複会員についても同額の入会金の納入を求めてきたが、他県協会と足並みを揃えるとともに、会員増加につなげていくため、他県協会との重複会員となる新規入会者には入会金の納入を求めないこととする。

なお、当該運用については、令和4年度第3回理事会の承認を得て、令和4年度入会者から適用するものとし、該当者には納入された入会金を返金する。

報告第2号 運営委員制度の創設について

現在、当協会は様々な活動を活発化させており、ほとんどの活動を理事が担当している。今後の協会運営の柱となる人材を育成するための仕組みとして、令和4年度第3回理事会の承認を得て運営委員制度を創設した。

なお、委員の任命や役割、処遇については次のとおりとする。

1. 協会運営に協力いただける意思を持つ会員を自薦・他薦で推挙し、理事会が運営委員を任命する。
2. 運営委員は理事とチームになり委員会活動やプロジェクトチーム活動などの協会運営を行う。
3. 運営委員の活動は基本的に無報酬であるが、業務負担が通常より重い等の理由がある場合は、理事会の判断により謝金等を支払う。